

非開削工法 - HDD (Horizontal Directional Drilling) -



1. はじめに

掘削を行わずに、パイプラインを敷設するための工法です。

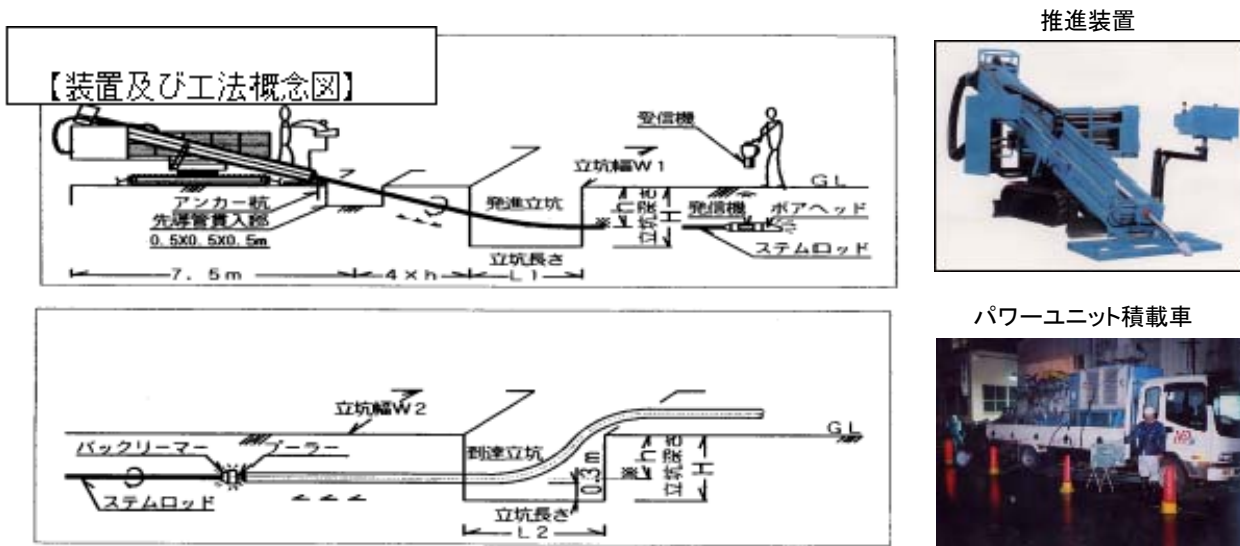
2. 工法の概要

(1) 工法の説明

回転するドリルヘッドの先端からベントナイト泥水をジェット噴射し、土壌を切り崩してロッドを継ぎ足しながら到達坑まで推進する。到達坑でドリルヘッドを取り外し埋設管径に合わせた活径リーマーを埋設管の先端に取り付け、ロッドを引き戻すことによって、埋設管を引き込み敷設する工法です。

(2) 装置の概要

本工法は、地上設置型推進機とパワーユニット、及びロケーティングシステム等から構成されている。尚、本非開削工法は打撃機能(パーカッション:0~150回/分)を有し、硬質土や玉石混じりの土質に対応することができます。又、ドリルヘッドの先端には発信機が組み込まれており、発信機からの信号を地上で検知しドリルヘッドの先端位置を確認しながら推進方向を制御することができます。



3. 工法の特徴

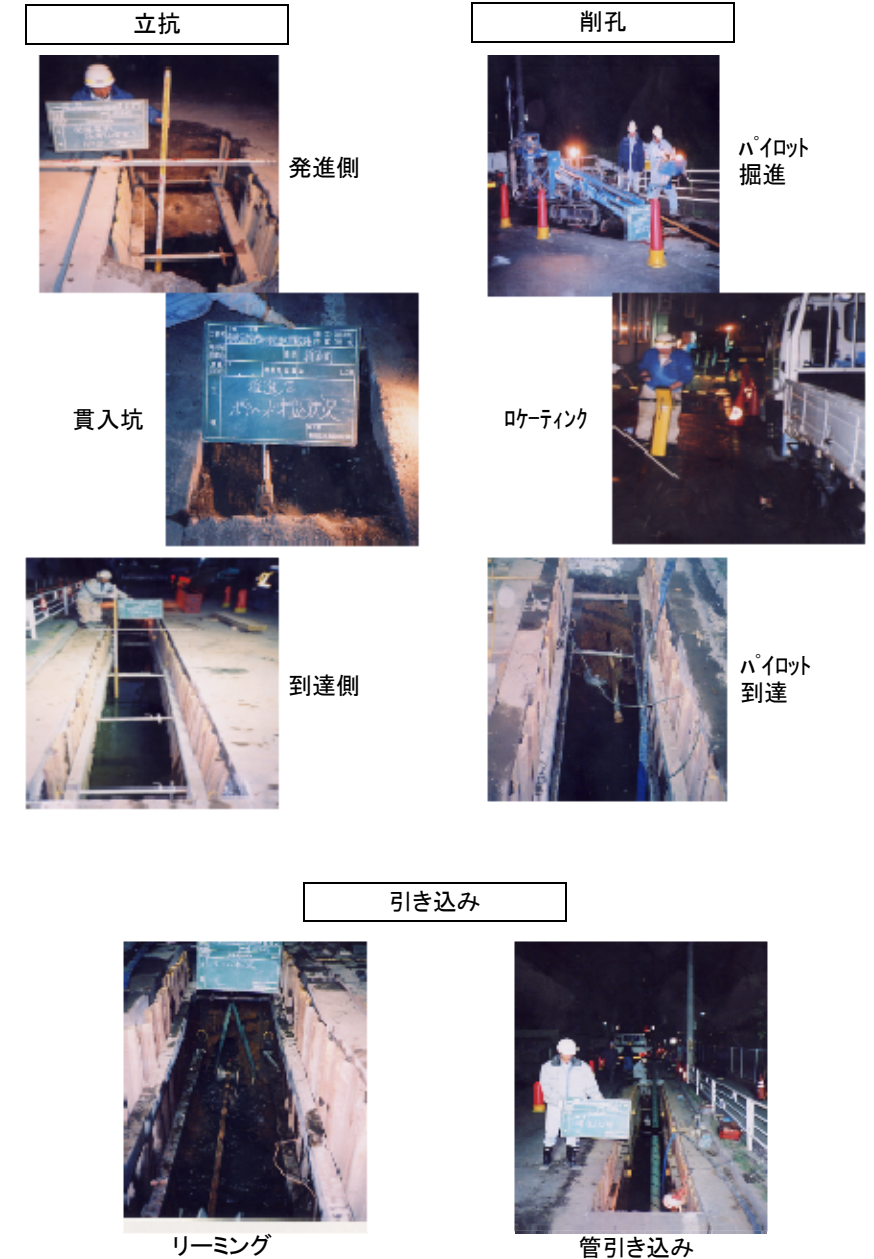
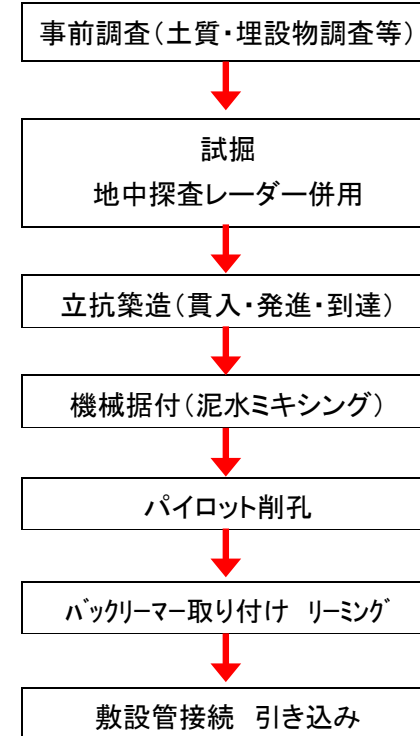
(1) コスト低減への反映

- ・ 産廃、残土等の処理費が削減できます。
- ・ 埋め戻し、仮復旧の骨材費が削減できます。
- ・ 道路復旧面積の縮小による復旧工事費が削減できます。
- ・ 工期の短縮が図れます。

(2) 環境への反映

- ・ 産廃、残土処理の処理数量、埋め戻し、仮復旧用骨材数量が削減できます。
- ・ 工事のための道路占用範囲や工期の縮小により、近隣住民に対する影響が緩和されます。

4. 施工フロー



5. コストメリット

	企業社
管敷設工事	開削・埋戻しに伴う骨材費等削減
道路復旧工事	高級舗装構造程: メリット大

6. 実績

お問い合わせ下さい。